



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社正興電機製作所 上場取引所 東・福
 コード番号 6653 URL <https://www.seiko-denki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 添田 英俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉 (TEL) 092-473-8831
 四半期報告書提出予定日 2020年8月4日 配当支払開始予定日 2020年8月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	10,661	△14.1	512	9.9	515	3.4	449	37.6
2019年12月期第2四半期	12,405	21.6	466	3.5	498	4.7	326	6.0

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 444百万円(—%) 2019年12月期第2四半期 △131百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	37.14	—
2019年12月期第2四半期	27.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	19,528	9,549	48.9
2019年12月期	21,379	9,208	43.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 9,549百万円 2019年12月期 9,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年12月期	—	10.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	6.1	1,500	65.2	1,545	53.4	1,030	47.0	85.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	12,603,595株	2019年12月期	12,603,595株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	494,780株	2019年12月期	513,110株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	12,095,643株	2019年12月期2Q	12,074,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が終息の兆しを見せていない中、徐々に活動を再開しておりますが、企業や個人は未だに活動制限を求められており、停滞感が続いております。また、感染拡大の第二波も懸念されていることから、景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは2021年度の創立100周年に向け、中期経営計画（SEIKO IC2021）のもと、「事業の拡大」と「高収益体質への転換」の実現に向け、「グループ総合力発揮による社会イノベーション事業の展開」「海外事業の拡大」「生産性の向上」の3つの重点施策に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、サービス部門において太陽光発電所向け設備の販売が減少したことや、環境エネルギー部門において、新型コロナウイルス感染症の影響により中国現地法人の事業活動が停滞したこと等により、売上高は10,661百万円（前年同期比 14.1%減）となりました。

損益につきましては、環境エネルギー部門において公共分野の採算が改善したことや、サービス部門において検温カメラの販売が好調に推移したこと等により、営業利益は512百万円（前年同期比 9.9%増）となりましたが、投資有価証券評価損の計上により経常利益は515百万円（同 3.4%増）に留まりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、完全子会社の吸収合併による税務上の繰越欠損金の引継ぎや、税効果会計の評価見直し等の影響により449百万円（同 37.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電力部門)

OT（制御・運用技術）・IT（情報技術）を活用した情報制御システムや発電電・配電向け製品の拡販に取り組みましたが、売上高は2,782百万円（前年同期比 2.4%減）、セグメント利益は253百万円（同 21.1%減）となりました。

(環境エネルギー部門)

国内の公共分野において水処理設備向け監視制御システムや道路設備向け受配電システムが堅調に推移したものの、中国事業において新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で事業活動が停滞したこと等により、売上高は5,348百万円（前年同期比 8.7%減）となりましたが、公共分野において工事採算が改善し、セグメント利益は138百万円（同 599.5%増）となりました。

(情報部門)

港湾分野やヘルスケア分野の介護システム及び健康管理システム等が低調であったものの、金融関係や一般企業向けのシステム開発が堅調に推移し、売上高は561百万円（前年同期比 1.1%増）、またセグメント利益は、システム開発分野の採算が改善したことにより31百万円（同 71.5%増）となりました。

(サービス部門)

大口の太陽光発電設備関連製品の減少により、売上高は1,164百万円（前年同期比 49.7%減）となりましたが、新型コロナウイルス感染症の対策商材として検温カメラの拡販などに努めた結果、利益率が改善し、セグメント利益は87百万円（同 197.3%増）となりました。

(その他)

制御機器関連やオフィス向けの調光フィルムが低調に推移したこと等により、売上高は805百万円（前年同期比 2.1%減）、セグメント利益は1百万円（同 97.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して2,002百万円減少の12,923百万円となりました。これは主に、仕掛品が362百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2,796百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して151百万円増加の6,605百万円となりました。これは主に、有形固定資産が取得等により232百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して2,164百万円減少の7,646百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,723百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して27百万円減少の2,332百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して341百万円増加の9,549百万円となりました。これは主に、利益剰余金が剰余金の配当により120百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により449百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2020年1月31日に発表いたしました予想から変更はございません。

なお、現時点で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が経営成績に与える影響を合理的に見積もることが困難であるため、今後合理的な予想が可能となり、開示が必要と判断された場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,632	1,929
受取手形及び売掛金	10,047	7,250
商品及び製品	494	677
仕掛品	2,090	2,453
原材料	320	310
その他	357	314
貸倒引当金	△17	△12
流動資産合計	14,925	12,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,843	2,161
その他(純額)	1,380	1,295
有形固定資産合計	3,224	3,457
無形固定資産		
	184	157
投資その他の資産		
投資有価証券	2,919	2,876
その他	134	123
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	3,044	2,991
固定資産合計	6,453	6,605
資産合計	21,379	19,528
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,139	2,416
電子記録債務	1,583	1,671
短期借入金	1,390	1,631
未払法人税等	256	98
賞与引当金	—	338
工事損失引当金	6	1
その他	2,433	1,488
流動負債合計	9,810	7,646
固定負債		
退職給付に係る負債	1,866	1,853
その他	493	479
固定負債合計	2,359	2,332
負債合計	12,170	9,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,607	2,607
資本剰余金	1,932	1,942
利益剰余金	4,020	4,348
自己株式	△238	△229
株主資本合計	8,321	8,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,113	1,102
為替換算調整勘定	△101	△106
退職給付に係る調整累計額	△125	△114
その他の包括利益累計額合計	886	881
純資産合計	9,208	9,549
負債純資産合計	21,379	19,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	12,405	10,661
売上原価	10,522	8,765
売上総利益	1,882	1,896
販売費及び一般管理費	1,416	1,384
営業利益	466	512
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	38	37
受取賃貸料	6	8
その他	9	15
営業外収益合計	55	61
営業外費用		
支払利息	11	14
投資有価証券評価損	—	33
為替差損	5	2
その他	6	8
営業外費用合計	23	58
経常利益	498	515
税金等調整前四半期純利益	498	515
法人税、住民税及び事業税	98	83
法人税等調整額	72	△17
法人税等合計	171	65
四半期純利益	326	449
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	449

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	326	449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△465	△10
為替換算調整勘定	△1	△4
退職給付に係る調整額	8	10
その他の包括利益合計	△458	△5
四半期包括利益	△131	444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△131	444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,851	5,860	555	2,315	11,582	822	12,405	—	12,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	110	385	498	249	747	△747	—
計	2,851	5,863	665	2,700	12,080	1,071	13,152	△747	12,405
セグメント利益	321	19	18	29	388	77	466	—	466

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、電気工事、機械器具設置工事であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,782	5,348	561	1,164	9,856	805	10,661	—	10,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	15	123	420	560	152	712	△712	—
計	2,783	5,364	684	1,584	10,416	957	11,374	△712	10,661
セグメント利益	253	138	31	87	510	1	512	—	512

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、電気工事、機械器具設置工事であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。